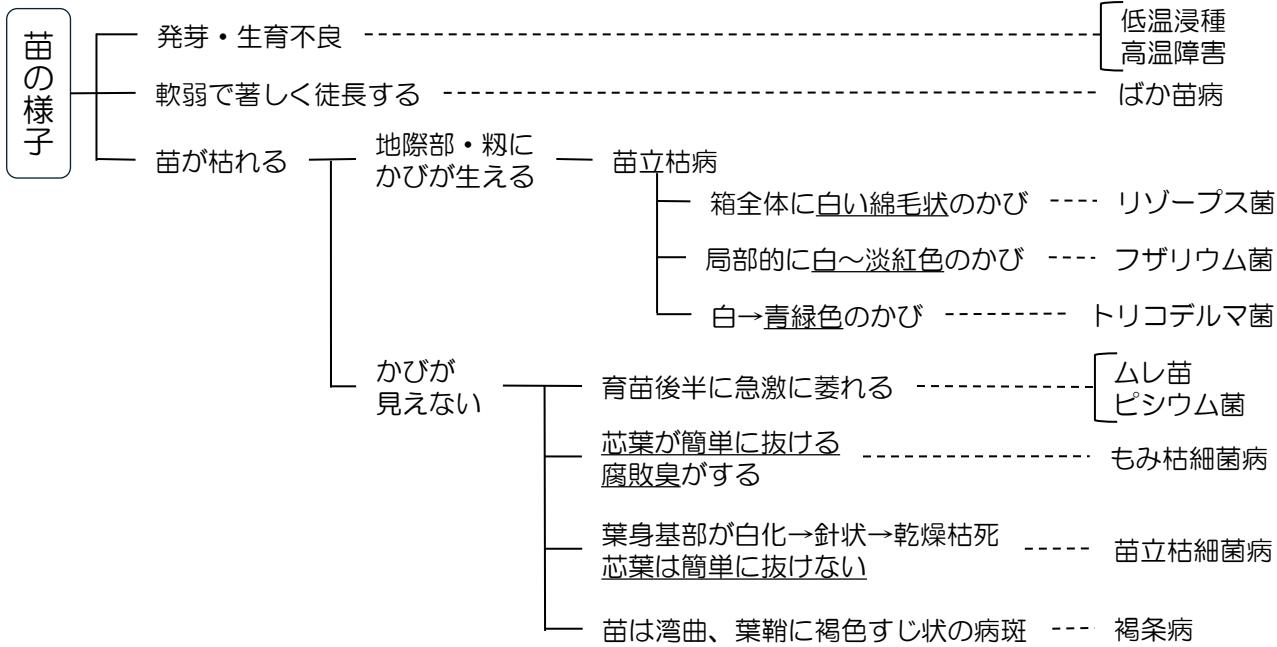


水稻の病害虫判定シート（育苗編）

～病害の推測と本作の対応策のヒント～

被害判定表



苗立枯病

【リゾープス菌】



白いふわふわ

出典：愛知県西三河農林水産事務所
農業改良普及課

【フザリウム菌】



白～ピンク色のかび

【トリコデルマ菌】



出典：栃木県農業総合研究センター

- 主な発生条件
- 出芽時の高温（32℃以上）多湿
 - 緑化期以降の約10日間の低温（10℃以下）

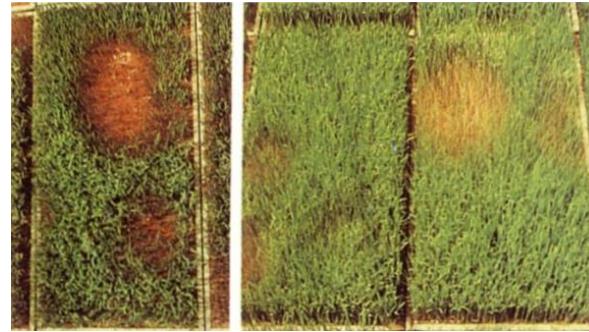
- 緑化期中の低温（10℃以下）や、床土の乾燥と加湿の繰り返し
- pHが高い培土の使用

- 酸性培土の使用
- 乾燥状態
- 保水力が小さい培土の使用

- 発生後の対応
- 発病した育苗箱と未発病の育苗箱は分けて管理しましょう。
※別ハウスに移動できる場合は、発病苗を低温・遮光管理しましょう。
 - ほ場準備ができている場合は、早期移植も可能です。
 - 多発している場合は廃棄し、播き直しまたは苗を購入しましょう。

ムシ苗

【ピシウム菌】



【ムシ苗】



症状

主な発生条件

発生後の対応

- 緑化期以降の低温（10℃以下）
- 土壌水分過多

- 1.5葉期頃の低温（7℃以下）
- pHが高い培土の使用

- 発病した育苗箱と未発病の育苗箱は分けて管理しましょう。
※別ハウスに移動できる場合は、発病苗を低温・遮光管理しましょう。
- ほ場準備ができている場合は、早期移植も可能です。
- 播き直しまたは苗を購入しましょう。

- 激発した苗は廃棄しましょう。
- 播き直しまたは苗を購入しましょう。

種子伝染性細菌病

【もみ枯細菌病】



出典：栃木県農業総合研究センター
(左) 梶原敏宏 (右)

【苗立枯細菌病】



【褐条病】



赤茶色のすじ

出典：栃木県農業総合研究センター

症状

主な発生条件

発生後の対応

- 保菌種子の使用
- 出芽時の高温
- 土壌の過湿

- 保菌種子の使用
- 出芽時の高温
- 土壌の過湿

- 保菌種子の使用
- 育苗初期の高温
- 循環式催芽器の利用

- 発病した苗は放置せず、必ず廃棄しましょう。
- 播き直しまたは苗を購入しましょう。
※播き直しする場合は、必ず種子消毒と、資材消毒剤（イチバンやケミクロンG等）を使用し育苗箱の消毒を行いましょ。
- ☆種子伝染性細菌病が発生した場合は、「購入種子の使用」「種子消毒の徹底」「育苗箱や播種機、育苗ハウスの消毒」を最低でも3年間は継続しましょう。

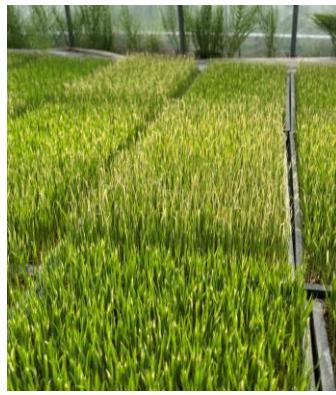
その他

【ばか苗病】



籾に赤色のかび
ゼリー状

【高温障害（事例）】



【症状①】
シートに触れた部分が白く枯れる。



【症状②】
シートがたるんで、局所的に高温になり、発芽・生育不良が起きる。

症状

主な発生条件

- ・緑化期以降の低温（10℃以下）
- ・土壌水分過多

発生後の対応

- ・発病した苗は放置せず、必ず廃棄しましょう。
- ※種子伝染するため、ほ場に移植し保菌種子が増殖するのを防ぎましょう。

問合せチェックリスト

項目	内容
<input type="checkbox"/>	品種名
<input type="checkbox"/>	種子 購入種子（JA・JA以外）・自家採種・備蓄種子（_____年産）
<input type="checkbox"/>	種子消毒 有（農薬名：_____ or 温湯消毒）・無
<input type="checkbox"/>	床土消毒 有（農薬名：_____）・無
<input type="checkbox"/>	箱施用剤 有（農薬名：_____）・無
<input type="checkbox"/>	播種日 _____月 _____日
	回答記録

斑点米カメムシ類防除

☆ほ場をよく観察し、以下の斑点米カメムシ類を見つけたら
適期防除を徹底しましょう！

(1) 斑点米カメムシ類



クモヘリカメムシ

ミナミアオカメムシ

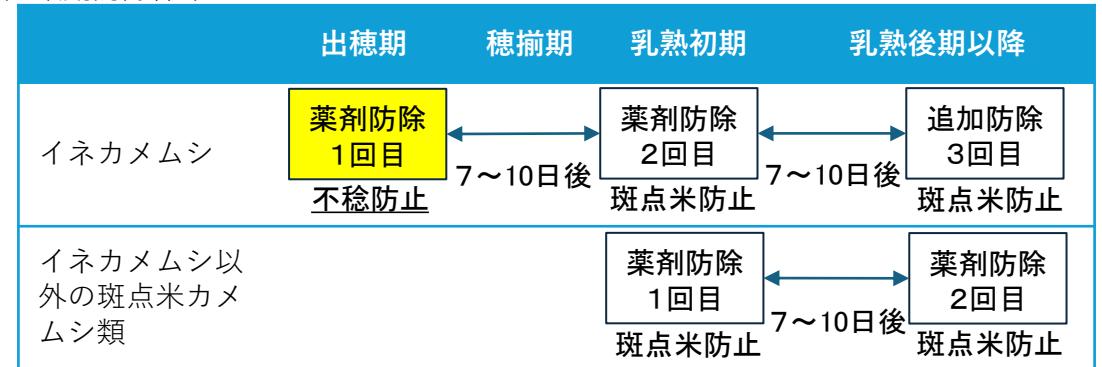
イネカメムシ

ホソハリカメムシ

アカスジカスミカメ

イネホソミドリカスミカメ

(2) 薬剤防除体系



(3) 不稔対策

- イネカメムシ
 - ・イネカメムシが出穂期に稲を加害すると不稔米が発生します
 - ・ほ場をよく観察し、発生が確認された場合は、不稔防止のため、通常の乳熟初期防除に加え、必ず出穂期の薬剤防除を行いましょ！
- クモヘリカメムシ
 - ・令和7年度に塩谷南那須地域の一部地域で、クモヘリカメムシの大量発生による不稔被害が出ました。
 - ・前年度にクモヘリカメムシが大量発生した場合は、必ず出穂期の薬剤防除を行いましょ！



イネカメムシ



イネカメムシによる被害粒
※玄米の基部に斑点



クモヘリカメムシ



クモヘリカメムシによる被害粒
※玄米の先端や中央部に斑点

育苗で困ったことがあったら、近くのJAか塩谷南那須農業振興事務所に相談してほしいまる～☆☆
相談するときは、「問合せチェックリスト」を準備してまるね！

※写真提供：栃木県農業総合研究センター
※無断転用禁止

問合せ先：栃木県塩谷南那須農業振興事務所 経営普及部 農畜産課
TEL：0287-43-2318

